

〈平成29年度 総会〉

「功績賞」と「平成28年度論文賞」報告

環境システム計測制御学会 選考委員会委員長

片 山 学

(平成28年度 EICA 幹事長/月島機械(株))

当学会では、平成29年5月9日(火)に品川区立総合区民会館「きゅりあん」第3講習室において選考委員会を開催し、「功績賞」と「平成28年度論文賞」受賞論文の選考を行いました。

功績賞につきましては、本学会における功績を評価し、次の方に同賞を授与し、平成29年度環境システム計測制御学会(EICA)総会にて当学会「名誉会員」に推挙され、承認されました。

功績賞受賞・名誉会員 古里明瑠氏

【受賞理由】

- ・1991(平成3)年 学会の前身研究会発足当時からご参加(株西原環境衛生研究所(現株西原環境)にご所属)
- ・本学会が関与する国際機関IAWQ(International Association on Water Quality/現IWA)の研究会に海外調査団として初期からご参加
- ・1996(平成8)年の学会発足時、初代総務委員長として会則など体制整備にご尽力
- ・同年より10年に渡り、総務委員会正副委員長としてご尽力
- ・以降 四半世紀に渡り現在も学会関連事業に参加いただき、アドバイスを頂く

平成28年度論文賞につきましては、学会誌「EICA」第21巻(平成28年度発行)に投稿された査読論文を対象に、①環境システム計測制御にふさわしい範疇のものであること、②新規性があり、論文として完成度が高いものであること、③今後の計測制御分野での貢献が期待できるものであること、を基準とし、選考委員会で協議しました。

審査の結果、次の2編の論文が当該学術、技術の進歩発展に顕著な功績があったものとして、平成29年度総会において表彰され、副賞と記念品が贈られました。

平成28年度論文賞

『下水汚泥の高効率脱水と焼却廃熱発電システムの評価』

山田恭平氏(京都大学大学院工学研究科)

大下和徹氏、高岡昌輝氏、藤森 崇氏(京都大学大学院地球環境学堂)

水野孝昭氏(株タクマ)

星 隆伸氏(株西原環境)

山崎正博氏、下川克之氏(和歌山市建設局)

島田正夫氏(日本下水道事業団)

川住亮太氏(国土技術政策総合研究所)

本論文は、和歌山市で平成25、26年度に実施されたB-DASHプロジェクトで行われた下水汚泥焼却廃熱発電システムの実証事業により、ランニングコスト、温室効果ガス排出量の削減効果が求められる条件を求めると共に、同市既設汚泥処理規模(45t/日)での導入効果を明らかにしたものである。焼却処理を導入する処理場において省エネルギーが課題となっており、本実証事業が課題解決の一つとなることを期待したい。

『ハロ酢酸の低減に向けた浄水処理制御方法の設定と実運用』

大方正倫氏, 西川智士氏, 門野 薫氏, 三田村良典氏 (滋賀県企業庁)

本論文は、消毒副産物であるハロ酢酸の水道水基準が平成 27 年 4 月に強化されたことを受け、同基準の超過が懸念される浄水場においてハロ酢酸の低減を目的とした浄水処理制御方法を設定し、実設備による運用により独自の管理目標以下に制御可能であることを実証したものである。最近では、消毒副産物に加え、かび臭などの問題が顕在化しており、今後も更なる研究に取り組み、その成果を期待するものである。

平成 28 年度論文の全体講評：

平成 28 年度の論文賞選考対象論文は少数ではあったが、上下水処理、都市ゴミ、震災廃棄物処理等、幅広い領域からの論文であり、何れも新規性があり、完成度が非常に高く、選考委員会として高く評価されたものである。

今後も、幅広い分野からの、特に若手技術者からの積極的な論文投稿を期待し、当学会活動の活性化にも繋げていけるよう取り組んで行きたい。